

■ 世界自閉症啓発デー 2018・静岡 ■

～ 講演会とシンポジウムの開催について ～

毎年4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。

「自閉症スペクトラム」という言葉は知られるようになりましたが、具体的な支援の仕方については、あまり広まっていません。障害を理解し、本人を理解し、本人に合った環境の調整や支援が行われれば、特性はあっても力を発揮でき、問題も改善されます。当協会は、このような理解を広めるため各種の活動をしていますが、以下のように「浜松」「静岡」「沼津」の3カ所で講演会とシンポジウムを開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

ご参加を希望される方はお早目にお申込みください。

■ 日時 3月18日(日) 10:00～16:30

■ 会場 グランシップ

1. 講演

静岡会場専用案内

午前の部(講演) 10:10～11:55	午後の部(講演) 13:00～14:45
(講師) 安倍陽子先生 横浜市東部地域療育センター 臨床心理士	
「自閉症スペクトラムの理解と支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 療育や支援を行なうためには、障害についての正しい理解と一人ひとりを理解し、それぞれに合った支援を行なうことが大切です。子育てや療育を行う上で理解しておきたい基本的なお話をさせていただきます。	「幼児期・学齢期の支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 早期療育の大切さがいわれますが具体的にどのようにしたらよいのでしょうか。療育の事業所や家庭における基本的な考え方と事例を中心にご紹介いただきます。
(講師) 日詰正文先生 厚生労働省・発達障害対策専門官	
「働く力を伸ばす、持てる力を生かす」 ○対象とする人 学齢期から成人期まで ○話のポイント 大人になったら、就職し経済的に自立できるようになりたいということは、誰でもが思うことです。まあ、実際には、知的な障害の軽重や得意・不得意の違いなど、いろいろな方がおられますので、それぞれの人が持っている力を伸ばすこと、持てる力を生かす考えが大切です。	「学齢期から成人期の制度と先進事例」 ○対象とする人 学齢期から成人期まで ○話のポイント 支援のための各種の制度と、日本各地の先進事例の紹介をさせていただきます。

2. シンポジウム (15:00~16:30)

テーマ：自閉症スペクトラムの特性を持つ人の幸せ

シンポジスト：保護者、支援者、講師など

3. 参加費 一般：1,000円

※ すべてに参加いただいても、一部だけに参加いただいても、参加費は変わりません。

※ 会員、賛助会員、研究会員は参加費は不要です。(申し込みは必要です)

4. 主催 静岡県自閉症協会

5. 申し込み (FAX 番号 054-259-2712)

氏名	
所属	
午前の部	安倍陽子先生 日詰正文先生
午後の部	安倍陽子先生 日詰正文先生
シンポジウム	参加する 参加しない
会員	会員 賛助会員 研究会員 一般
保護者・指導者	保護者 指導者
連絡先	※ FAX 番号、電話番号、など
郵便番号	※ 住所は不要です
備考	

※ 複数の方が同じ講師の方のお話を聞かれる場合は氏名欄に複数の方のお名前をご記入ください。※ 項目の中は、該当を○で囲んでください。

※ 連絡先はメールアドレスでも結構です。

6. お問い合わせ先

静岡県自閉症協会事務局 080-3620-8711

以上

※ ご参考

他の会場も含めた案内は、ホームページをご覧ください。

静岡県自閉症協会 <http://www.ei-21.com/asj-shizuoka/>